

2020（令和2）年度 JABTS 事業活動報告

1. 編集委員会 尾本 きよか

- ・乳腺甲状腺超音波医学 第9巻3号の発行
- ・乳腺甲状腺超音波医学 第10巻1号の発行

2. 教育委員会 渡辺 隆紀

- ・JABTS45にて
教育委員会企画「超音波検査における構築の乱れー主に良性病変に関してー」
- ・乳房超音波基礎・インターベンション講習会の企画
乳癌学会と共同で講習会を行うことを目標に、乳癌学会側と準備を進め、乳癌学会理事会にて承認されたため、乳癌学会教育研修委員会と合同で準備委員会を設立した。

3. 会則委員会 古川 まどか

- ・「甲状腺超音波ガイド下穿刺専門資格認定に関する細則」の検討
- ・「一般社団法人日本乳腺甲状腺超音波医学会 役員候補者選考規則」の検討
- ・「学術集会の収支決算に関する規定」の検討

4. 国際委員会 亀井 桂太郎

- ・JABTS45にて
JABTS44 リバイバル 国際委員会企画 シンポジウム「2019年モンゴル派遣報告」
 - 1) 国際委員会「2019年モンゴル派遣報告」 東野英利子
 - 2) モンゴルとの交流に至った経緯 高田悦雄
 - 3) Diagnosis and treatment of breast diseases 2nd forum に参加して 植野映
 - 4) Breast ultra seminar 柏倉由実
 - 5) モンゴル医療の現況 加奥節子
- ・モンゴルとの症例検討会の開催
 - 1 検診で見つけにくかった若年乳癌症例（日本医師）

2 進行乳癌の症例提示とモンゴルの現況（モンゴル医師）

5. 乳腺用語診断基準委員会 坂 佳奈子

- ・多施設共同研究

- 1) BC-01(乳房超音波診断フローチャートの有用性に関する多施設共同研究)の論文について 2019 年 12 月に「B-mode ultrasound diagnostic flowchart for solid breast masses : JABTS BC-01 study」として Journal of Medical Ultrasonics に投稿し WEB にて掲載された。
- 2) BC-07 研究部会として非腫瘍性病変のカラードプラの有用性、判定基準の作成を行っている。次年度に継続する事業である。
- 3) CD-CONFIRM 研究（腫瘍のカラードプラの判定基準）は日本超音波医学会の研究資金により実施し、「The utility of B-mode, color Doppler, and elastography in the diagnosis of breast cancer: Results of the CD-CONFIRM multicenter study of 1351 breast solid masses」として論文作成。

- ・2020 年 10 月乳房超音波診断ガイドライン第 4 版を発行。

- ・JABTS45 にて

乳腺用語診断基準委員会企画

「乳房超音波診断ガイドライン改訂第 4 版」 改訂のポイント

6. 甲状腺用語診断基準委員会 村上 司

- ・甲状腺超音波ガイドブック第 4 版への改訂作業

- ・福島県「県民健康調査」の甲状腺超音波検査への支援

- ・福島県医師会による超音波講習会及び認定試験への支援

- ・JABTS45 にて

JABTS44 リバイバル 甲状腺用語診断基準委員会企画

日常よく遭遇する甲状腺疾患シリーズ第 4 回『痛みを伴う甲状腺疾患』

7. 利益相反委員会 志村 浩己

- ・「学術集会」の演者、「機関誌」の著者については、特に違反の報告はなかった。

- ・JABTS 会員に令和元年度の「役員等の利益相反自己申告書」の提出を求め、COI の申

告があった7名については、その状態の判断ならびに助言、指導のため、個人情報の保護に留意し、委員長と委員のダブルチェックで内容を確認した。

8. 学術委員会 東野 英利子

・第1回学術委員会(web)にて以下の検討を行った。

- ①甲状腺超音波ガイド下穿刺診断専門医委員会施行細則に関して
- ②委員会の委員数に関して
- ③インターベンション研究部会の委員会への変更希望に関して
- ④研究部会の新規申請書の Format に関して
- ⑤各委員会の内規の内容確認に関して

・第2回、第3回学術委員会(web)にて

各委員会・研究部会からの年度末提出書類を検討し、2021年度の事業予定、予算案について意見作成をした。

9. 甲状腺超音波ガイド下穿刺専門資格認定委員会 鈴木 眞一

・甲状腺超音波ガイド下穿刺診断専門医、およびコーディネーター資格の創設

- 1) 甲状腺の超音波ガイド下穿刺診断にあたる高度かつ専門的な知識と診療技能を有し、指導医的立場となり得る医師を専門医として、補助できる看護師・臨床検査師・診療放射線技師をコーディネーターとして認定し、甲状腺超音波医学並びに医療の向上を図り、国民の福祉に貢献すること目的として、甲状腺超音波ガイド下穿刺診断専門医資格、甲状腺超音波ガイド下穿刺コーディネーター資格を創設した。
- 2) 本穿刺制度の確立のため、甲状腺超音波ガイド下穿刺専門医制度およびコーディネーター制度の規則、施行細則を作成し、ホームページ上で告知した。
- 3) 2020年度の暫定専門医の資格認定作業を行い、2021年度以降の暫定専門医資格認定に携わる暫定専門医の審査を行なった。

・JABTS45にて

JABTS44 リバイバル 甲状腺超音波ガイド下穿刺専門資格認定委員会企画

「専門医制度教育セミナー」

- 1) 甲状腺超音波ガイド下穿刺専門資格の概要

志村 浩己

- | | |
|--------------------|-------|
| 2) CNB の適応と実際 | 松本 佳子 |
| 3) 穿刺吸引の手技とその超音波画像 | 檜垣 直幸 |
| 4) 病理医からみた穿刺吸引細胞診 | 亀山 香織 |

- ・日本臨床検査士学会で本制度の紹介を兼ねたシンポジウムを開催した。

10. 乳がん検診研究部会 坂 佳奈子

- ・混合性腫瘍のカテゴリーの検討は 2019 年度に終了し論文作成の途中である。用語診断基準委員会とともにこの点の改定を検討し、乳房超音波診断ガイドライン第 4 版にその結果を反映し、要精検基準の変更に至った。
- ・混合性腫瘍のカテゴリー変更に関する論文は現在作成中であり、継続事業とする。
- ・日本乳癌学会が「検診カテゴリーと診断カテゴリーに基づく乳がん検診精検報告書作成マニュアル（金原出版）」を 2019 年 7 月 11 日に発刊した。それに伴う現場の混乱なども見られる。JABTS の乳がん検診研究部会としても超音波検診にかかわる部分に対しては意見を述べ、検証作業などを行うための検討を重ねたいと考える。JABTS44 でこの課題に関するセッションを予定していたが、学術集会が中止となったため、JABTS46 にて再度セッションを組み発表する予定である。

11. インターベンション研究部会 亀井 桂太郎

- ・JABTS45 にて
 - 1) JABTS44 リバイバル インターベンション研究部会企画「次の一手」
針生検で組織型診断が難しかった乳癌の 1 例 辻 喬繁
 - 2) JABTS44 リバイバル インターベンション研究部会企画
ミニレクチャー
超音波ガイド下吸引式乳房組織生検 藤田崇史

12. FUSION 02 研究部会 明石 定子

- ・2019 年 10 月（主施設以外の参加施設では 2020 年より）より FUSION02 試験は登録開始となった。30 例登録目標のところ 2021 年 1 月現在 6 例の登録である。もう少し

登録のペースを上げていきたい。

- ・ JABTS45 にて
JABTS44 リバイバル FUSION02 研究部会企画
「体感する！様々な超音波 fusion 技術」

13. 超音波エラストグラフィ診断精度の向上と AI 利活用に関する研究部会 中島 一毅

- ・ AI の利活用に関する研究は AMED の事業と連携で進めてきた成果を、JABTS46 の研究部会企画で報告の予定。
- ・ それ以外の計画については、今年度は COVID-19 禍で研究が進められない状況だった。今後は別組織の研究班にて進めていく予定。

14. 乳房超音波精度管理用ファントム自体の経時的劣化について検討する研究部会

桜井 正児

- ・ JABTS ガイドライン改定第 4 版に、完成した小型のファントムを掲載。
- ・ 改良を加えた精度管理用ファントムを用い、毎日の精度管理が行えるか、部員 4 施設で引き続き検討した。
- ・ 改良を加えたファントムの検討を開始し約 4 年 6 ヶ月経過したため、(株) 京都化学で新しいファントムを作成し、ファントム自体の経時的劣化について部員 4 施設で検討した。
- ・ 岐阜医療科学大学の篠原範充先生によるファントム画像のデジタル評価を引き続き行った。
- ・ (株) 京都化学の協力のもと、ファントムの経時的変化の検証を行った。
- ・ 画像劣化の事例の蓄積を行った。
- ・ 「乳房超音波精度管理用ファントム自体の経時的劣化の評価」について論文作成中。

15. 乳房造影超音波における乳がんの広がり診断に関する研究部会 三塚 幸夫

- ・ JABTS45 にて
FLOW-CEUS 01 Study^{*1} と Evergreen Study^{*2} の収集データに基づく研究部会企画
『組織型別乳房造影超音波診断』をおこなった
座長：島 宏彰（札幌医科大学 消化器・総合、乳腺・内分泌外科）

今吉 由美（大垣市民病院 形態診断室）

演者： 1. 乳房造影超音波検査の基本について

加賀 輝美（社会福祉法人 北海道社会事業協会帯広病院）

2. 組織型別造影超音波診断：DCIS

野間 翠（県立広島病院 消化器・乳腺・移植外科）

3. 組織型別造影超音波診断：浸潤性乳管癌充実型

三塚 幸夫（東邦大学医療センター大森病院 臨床生理機能検査部）

4. 組織型別造影超音波診断：浸潤性乳管癌（硬性型）

野呂 綾（三重県立総合医療センター）

5. 組織型別造影超音波診断：粘液癌

佐藤 恵美（北海道大学病院 医療技術部放射線部門／超音波センター）

6. 組織型別造影超音波診断：浸潤性小葉癌

中村 卓（名張市立病院 乳腺外科）

7. 総括（まとめ）

奥野 敏隆（神戸市立西神戸医療センター 乳腺外科）

※1 造影超音波を用いた乳腺病変の造影パターンについての検討（Multicenter study to evaluate the difference of contrast-enhanced pattern between benign and malignant breast lesions by contrast-enhanced ultrasonography, FLOW-CEUS 01 (JABTS BC-06)）

※2 乳房造影超音波における乳がんの広がり診断に関する研究（Multicenter study to evaluate the extent of breast cancer through the use of contrast-enhanced ultrasound (CEUS); Evergreen study), JABTS BC-08

・ Evergreen study (JABTS BC-08) が Breast cancer 誌に投稿、掲載された。

論文名：『Comparing the extent of breast cancer tumors through contrast-enhanced ultrasound vs B-mode, opposed with pathology: evergreen study』

(Received : 05 January 2020 / Accepted : 13 October 2020 / Published : 29 October 2020)

16. リンパ節診断研究部会 古川 まどか

・ 学会発表

JABTS45にて

JABST44 リバイバル リンパ節診断研究部会企画

リンパ節の超音波診断のコツとピットフォール 座長：古川まどか：

日本超音波医学会第93回学術集会 「頭頸部・甲状腺」keynote lecture

第 28 回頭頸部超音波研究会

令和 2 年度第 2 回日本超音波医学会頸部リンパ節診断研究会共催

診断に苦慮した頸部リンパ節疾患の超音波像と鑑別ポイント

・論文発表

JABTS 学会誌 依頼原稿

古川政樹：『リンパ節超音波診断の標準化を目指して』 本企画によせて，乳腺甲状腺超音波医学 9：45－45，2020.

古川政樹：『リンパ節超音波診断の標準化を目指して』 リンパ節の標準的超音波診断法確立に向けた提言（基調発言），乳腺甲状腺超音波医学 乳腺甲状腺超音波医学 9：46－52，2020.

大貫幸二：『リンパ節超音波診断の標準化を目指して』 リンパ節転移に対する超音波検査および病理診断の精度に関する現状と問題点，乳腺甲状腺超音波医学 9：53－56，2020.

花井信広、寺田星乃：『リンパ節超音波診断の標準化を目指して』 超音波診断におけるリンパ節の計測法，乳腺甲状腺超音波医学 乳腺甲状腺超音波医学 9：57－59，2020.

藤本保志：『リンパ節超音波診断の標準化を目指して』 臨床現場が求めるリンパ節超音波診断とは，乳腺甲状腺超音波医学 9：60－61，2020.

福原隆宏、堂西亮平、松田枝里子、竹内裕美：『リンパ節超音波診断の標準化を目指して』 頸部リンパ節超音波診断の普及について，乳腺甲状腺超音波医学 9：62－64，2020.

・著書・出版物

古川まどか：8. 頸部 1 day POCUS レクチャー&ライブコース セミナーテキスト，第 7 回 POCUS 研究会 p36－40. POCUS 研究会事務局（栃木）2019.

古川まどか：Point-of-care 超音波研究会認定 領域横断ちょいあてエコー活用術，監修 谷口信行 編集 山田博胤，第 8 章 POC 表在エコー. p103-115, MC メディカ出版（大阪）2019.

17. B C-07 研究部会 渡辺 隆紀

・ CD-CONFIRM 研究

2020 年 8 月にデータ解析が終了し(1458 症例登録)、現在論文投稿中(Ultrasound in Medicine and Biology)である。

・ BC-07 研究

症例登録数が少ないため(約 300 症例)、登録期間を 2021.3.31 まで延長した。また

COVID-19の影響もあり、非腫瘍性病変に対するカラードプラ判定基準の作成が遅れており、2021.5(JABTS46)までに作成予定である。その後に画像中央判定を行い、データ解析予定である。

18. 乳癌取り扱い規約に基づいた超音波画像診断研究部会 坂 佳奈子

- ・各参加施設での画像収集終了
聖路加国際病院、昭和大学附属病院、湘南記念病院、名古屋医療センター、相良病院での画像収集作業が2019年11月に終了した。
- ・画像中央判定委員会
第1回画像中央判定委員会を聖路加国際病院にて2019年11月17日に実施、以降、第2回を同じく聖路加国際病院にて12月22日、第3回第4回を名古屋医療センターにおいて2020年1月10日、11日に実施した。
第5回以降に関してはコロナウイルス感染症の拡大により対面での委員会開催ができなくなり、第5回WEB画像中央判定委員会(2020年6月26日)、第6回WEB画像中央判定委員会(2020年7月8日)、第7回WEB画像中央判定委員会(2020年11月28日)、第8回WEB画像中央判定委員会(2020年12月9日)、第9回WEB画像中央判定委員会(2020年12月18日)、第10回WEB画像中央判定委員会(2020年12月28日)ですべての症例の中央判定が終了した。
- ・学会での発表
2021年5月15日16日に行われる第46回日本乳腺甲状腺超音波医学会学術集会にて多施設研究の発表を行う。
- ・論文
学会発表後、JABTS学会誌に投稿予定である。

19. 甲状腺結節血流研究部会 志村 浩己

- ・甲状腺結節の血流解析における実施プロトコールと判定基準の作成
 - 1) 前向き研究(Feasibility study)の一部のデータを部会内で解析を行い、施設間の甲状腺結節のドプラ検査の実施方法の差の検討、適切な検査方法の検討、ドプラスペクトラム解析の測定条件の標準化のための検討を実施した。
 - 2) 上記解析により、標準化されたドプラ検査法と血流分布パターンの判定基準、血流測定方法のプロトコールの改訂を行い、標準プロトコールを作成した。
- ・上記標準プロトコールに基づいた改訂研究計画を作成し、研究部会員の医療機関にお

いて、研究計画の倫理申請の修正を実施した。

- ・改訂研究計画に基づいた前向き研究(Feasibility study)を実施中であり、2021年5月に終了予定。
- ・ドプラエコー検査判定基準の作成を目的とした Observational study の計画を作成した。2021年6月に開始予定である。

20. T I Lに関する超音波画像の研究部会 舩本 法生

- ・JABTS45にて

TILに関する超音波画像の研究部会企画 「TILを超音波で評価できるのか？」

座長：昭和大学 乳腺外科 明石定子

愛媛大学医学部附属病院 乳腺センター 亀井義明

- 1) TILの臨床的意義と問題点について

昭和大学乳腺外科 永田 彩

- 2) 高度のTILを伴う乳がん(LPBC)を超音波画像で予測できるのか？

広島大学病院 乳腺外科 木村 優里

- 3) TILの多い乳がん・少ない乳がんの超音波画像 ～画像解説～

広島大学病院 検査部 福井 佳与

- 4) 高度のTILを伴う乳がん(LPBC)を予測するUSスコアリングの有用性とその臨床応用について ～研究部会での研究内容を含めて～

広島大学病院 乳腺外科 舩本法生

- ・TILに関する超音波画像の研究部会における研究の進捗状況について

『TILを豊富に有する乳癌(LPBC)の特徴的な超音波画像所見の検討と診断予測への応用』の研究に関して広島大学乳腺外科が2020年8月24日に自施設の倫理申請の研究許可を得た。各施設は自施設における倫理申請手続きを行い、申請許可を得たのちに研究を開始している。各施設において超音波画像データを解析し、研究データを広島大学病院乳腺外科へ郵送し研究を開始している。